



# THE TIA NEWS VOICE

編集・発行 公益財団法人高松市国際交流協会

No.49

(公財)高松市国際交流協会では今後も、定例事業に加え、様々な事業・イベントを開催し、より多くの有意義な国際交流の場を提供致します。新たな発見、新たなつながりを目指して更なる国際交流を目指して参ります。今後の協会事業にふるってご参加下さい！



世界のスイーツ教室



トゥール市派遣親善研修



国際交流 秋のお茶会



さめき探訪



国際交流支援事業



姉妹・友好都市親善  
派遣研修生報告会



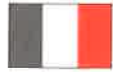
外国人のど自慢・お国自慢大会



世界のクリスマス体験



Kid's国際交流出前事業



# トゥール市派遣青年親善研修生事業



今回で5回目を迎えたこの事業は、高松市内の短大、大学、高専、専門学校に通う学生に加え、18歳以上30歳未満の社会人を対象にフランス共和国の姉妹都市トゥール市に親善研修生2名を派遣するものです。この事業の特色は、自分が探究したい分野を現地で発見、体得または学習できるようにプログラムを本人が提案できることです。

今回の研修生は、香川大学経済学部の片山さんと香川大学工学部の村井さんが選ばれました。フランス語学習を含め事前研修を数回開催し、9月10日から23日までの14日間のうち10日間をトゥール市で過ごしました。

二人は現地の小、中、高校、語学専門学校そして日仏交流団体等、現地の方々と交流を深めました。また香川高専と交流を始めたプロワ短期大学も訪問しました。今回の研修ではフランス語で作成した折紙マニュアルや牛乳パックとストローをつかった竹トンボ作りの教室を開いたりして日本文化、香川の文化そして高松市を現地の方々々に理解頂く為の文化交流を行いました。特に竹トンボ作りは小学生に非常に喜ばれ大好評でした。



トゥール市役所では、市議会の合間に両研修生の紹介もあり、貴重な体験をしました。



香川大学経済学部 2年 片山 健太



トゥール市派遣研修に今回参加して、私は大きく成長することができました。大学進学後、ずっと海外に行ってみたいと言い続けて、1年が経ち不安もあったがこの研修に応募しました。この研修は市の事業の一環として行われていることもあり、内容の濃い研修でした。特に日本の文化を伝える研修は、私的な旅行ではできない経験であり、言語の壁を感じるとともに、それを乗り越えて日本のことを多くの人に知ってもらうことの大切さ、そして喜びを感じることができました。

海外への気持ちはあれど行動に移せなかった私も、研修後には国際イベントへの参加や留学生との交流、さらに海外研修への参加などにも積極的に取り組めるようになり、この研修は私の人生において大きな意味を持つことになるかと確信しています。高松市国際交流協会、並びに高松、トゥール市役所の方々をはじめ、本研修を支援していただいた方々に感謝申し上げます。これからは私がエヴァンジェリストとしてこの経験で得たものを伝えていければと考えています。

香川大学工学部 2年 村井 颯希



トゥールでの10日間は新しい発見と人との出会いであふれていました。現地では、できる限りフランス語を使い、人と積極的に会話して交流することを心がけました。大学や語学学校、お城や美術館を訪れ、ホームステイをして、肌でフランスの文化や生活を感じることができました。私は工学部で建築の分野について学んでいるので、現地の建物を見たり、トゥールの建築について教えてもらったりして、伝統や景観、デザインの工夫などについて学ぶことができました。また、小・中・高をまわって日本の遊びや文化を伝えることで、高松や日本のことをもっと知ってほしいという思いをより強く持つようになりました。竹とんぼと手遊び歌を小学生に教えた最後に「ありがとう、さつき」と日本語で子ども達が言ってくれたときは、嬉しくて泣きそうでした。

このプログラムは、実際に現地に行かないと経験出来ないばかりで、本当に参加出来て良かったです。私がこのような素晴らしい経験ができたのも、たくさんの方々のご支援があったからだと思います。本当にありがとうございました。

## 平成28年度 高松市姉妹・友好都市親善派遣研修生報告会

報告会は11月13日(日)アイパル香川2F交流フロアにて開催されました。友好都市である中国南昌市、姉妹都市であるアメリカ セント・ピーターズバーグ、フランス



トゥール市へ派遣した9名の研修生は、写真や画像を使って友好・姉妹都市の概況や滞在中の研修内容について説明し、現地で感じたこと、気づいたことを発表しました。多くの方にこの派遣事業内容を知って頂き、国際交流に興味を持ってもらう有意義な報告会となりました。



※研修内容や感想をまとめた報告書を配布しております。ご興味のある方はアイパル香川2Fにある協会事務所へお越しください。

# 第20回 外国人のど自慢・お国自慢大会

第20回外国人のど自慢・お国自慢大会は、2016年10月16日(日)サンポートホール高松で行われました。最後の開催となる今大会には9ヶ国地域から延べ34名の出演者が参加しました。一部のど自慢では13名の出演者は日本の歌を熱唱して競い、「ひまわりの約束」を歌ったインドネシア出身のアリフ アル アムリさんが、第20回外国人のど自慢大賞に輝いた。二部のお国自慢では、ネパール、インドネシア、バングラデシュからの留学生がそれぞれの国の結婚式や豊作などを祝う伝統舞踊、翠扇会は民謡のさめきうどん音頭を踊って各国の文化を紹介しました。

1997年9月に看板一つから手作り、音響はスタッフが担当する1回目の開催を行ってからこの20年の間に、世界34ヶ国地域から延べ600名以上の外国人のみなさんがこの大会のステージで心をこめて日本の歌を歌い、母国の素晴らしい伝統文化を披露し、日本での楽しい思い出を作りました。実行委員会の皆様をはじめ、多くのボランティアの方々、協賛各社および(株)ライブ総合舞台、ミュウ・ライティング・オフィスの皆さんの長年にわたるご協力があったからこそ今日まで開催でき、そして華やかに幕を閉じられたこと、心から感謝申し上げます。



第20回外国人のど自慢大賞  
インドネシア  
アリフ アル アムリさん



高松ライオンズクラブ会長賞  
フィリピン  
パドナン レジーナさん



審査員長賞  
中国  
烏 紅霞さん



高松市国際交流協会理事長賞  
インドネシア  
イワン クルニアワンさん



## さめき探訪 (第9・10回)

第9回さめき探訪は高松市、高松ユネスコ協会のご協力を頂き、「四国新聞・さかえドライ・水道資料館見学バスの旅」を平成28年10月5日(水)に開催し、6か国22名の外国人留学生や研修生等が参加しました。参加した皆さんは、普段自分で行けないところを見学できて大変勉強になったようです。新聞印刷機(輪転機)が自動で高速で新聞を印刷する様子に非常に興味を示していました。またさかえドライのクリーニング工場では環境に優しい洗剤を使用したり従業員のこまやかな気配り作業に感心したり、また水道資料館では江戸時代から日照りの多い高松での人々の生活を支えてきた水道設備とその営々たる維持管理に感動していました。



第10回さめき探訪は、さめきの歴史、文化を体験できる日帰りバスツアー「引田ひなまつり探訪の旅」を高松ライオンズクラブとの共催で平成29年2月26日(日)実施しました。アフリカからの実習生や欧州からの在住外国人も含め9か国20名の外国人が参加しました。

当日は良い天気にも恵まれて、引田の由緒ある古い街並みと、美しいひな祭り人形の飾りに参加者は大変感動していました。また江戸時代からある醤油作りの讃州井筒屋敷やかめびし屋の歴史のある建物の風情に参加した皆さんは「日本」を満喫しながら、楽しい一日を過ごしました。



## 平成28年度 国際交流支援事業後期活動報告

高松市に拠点を置く国際交流団体、市民主体の国際交流の促進を図る為、国際交流に関する文化的活動やワークショップを自由に発信できる場を無料で提供しています。今年度の後期【平成28年9月-平成29年1月】の実施状況をお知らせします。ヨガに、書道にダンスワークショップと今回も多様な内容で開催しました。

### 【NY発ヤмнаメソッドで若々しい体を -アンチエイジング弁当付き-】

主催：setouchi アンチエイジングを考える会  
講師：安本 和江

平成28年10月2日(日) 10:00-12:00

ニューヨーク初のセルフケアプログラム、ボールを使用した「ヤмнаボディローリング」の体験とアンチエイジングフードマイスターによるお弁当を楽しむイベントを開催しました。楽しく、美味しくアンチエイジング体験をしました。



### 【国際交流書道体験 -色紙作品・消しゴムはんこを作ろう-】

主催：創書会 講師：野村 繁  
平成28年11月20日(日) 13:00-17:00

野村先生の指導のもと、自分の好きな漢字を色紙に書き、その作品に押すオリジナル落款を消しゴムで作りました。当日はロシア・カンボジア・ブラジル出身の方も参加し、参加者同士での国際交流も図れました。



### 【アイリッシュダンスワークショップ -アイリッシュダンス入門編-】

主催：香川アイリッシュダンサーズ 講師：吉野 寧浩  
平成29年1月22日(日) 14:00-17:00

アイリッシュダンス初心者の方でも気軽に参加できるワークショップが開催されました。レッスンの後にはアイリッシュ音楽の演奏と吉野先生によるタップダンスショーがあり、参加者のみなさんは楽しくアイリッシュ文化に慣れ親しんでいました。



## 世界のスイーツ教室

世界のスイーツ教室では様々な国のお菓子作りを体験し、気軽に楽しくその国の食文化や習慣などの異文化交流を図っています。第4回はアルゼンチンのお菓子、アルファホール(講師:香川県南米交流次世代人材育成事業研修員ナポレオン・スリタ・マリアノさん)、第5回は在住外国人の方も対象に香川の郷土料理のなすそうめん、はげ団子(講師:高松市文化財保護協会理事、妹尾共子先生)を、第6回ではイギリスのお菓子、スコーン(講師:ベンジャミン・ジェイクス・パーさん)を作りました。アルゼンチン編では、初めて食べるキャラメルクリームを挟んだクッキーのアルファホールに大満足。また香川の郷土料理編では外国人の方のみならず日本人の方にとっても香川に古くから伝わる郷土料理についての認識を深めることができました。イギリス編では2種類のスコーンを作り本場の紅茶と共に楽しみました。今後も様々な国のお菓子で開催致しますのでお気軽にご参加下さい。



## 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと」

今年度より当協会では多文化共生イベント「一緒に暮らすこと」をスタートしました。多文化共生とは国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の一員として共に生きること、それに伴うまちづくりと言われていています。相互に有意義で多様な方向から多文化共生に関するイベントを今後開催していきます。

### 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと①」

#### 世界のクリスマス体験

開催日:平成28年12月9日(日) 13:30-12:00  
世界ではどのようにクリスマスをお過ごしたり祝ったりするのかをテーマに、フィリピン、韓国、ニュージーランド、アメリカの4カ国のクリスマスについての話を聞いたり、クリスマスに食べるお菓子を食べて実際に体験してもらいます。当日は世代も国籍も異なる方々に参加頂き、楽しく異文化交流しました。



### 多文化共生イベント「一緒に暮らすこと②」

#### 在住外国人のためのシミュレーション防災訓練

開催日:平成29年1月29日(日) 9:00-12:00  
在住外国人の方を対象に香川大学工学部の危機管理研究センターにてシミュレーターシステムを使用した防災訓練を行いました。実際に地震が起こったらどのように行動するかをグループでロールプレイ体験をしました。体験の様子を撮影したビデオを見ながら、より良い避難方法をディスカッションしました。地震への心構えを認識できたいい機会となりました。



嫌なクリーニング臭いをカット!  
人と環境に優しいフッ素系溶剤を使った  
さかえドライだからこその仕上がります。

**さかえドライ**

高松市太田下町2245 電話受付時間 AM 9:00~PM 7:00



0120-446-970

<http://www.sakaedry.co.jp>



## 平成28年度 Kid's国際交流出前事業

高松市内の幼稚園・保育園を対象に、異文化を楽しく体験しながら世界のつながりを感じてもらう場を提供する為外国人講師・国際交流員・在住外国人の方と一緒に訪問しております。



今年度は7カ所の幼稚園・保育所に訪問しました。9月には香川県国際交流員、辛恵珍さん(韓国)が高松市立古高松保育所、10月は同じく県国際交流員、コーリ・ジョウセフさん(イギリス)が高松市立川岡幼稚園、12月には同じく県国際交流員、李婷婷さん(中国)が高松市立国分寺北部保育所を訪問しました。様々な内容を通じて楽しく絵本の読み語りや習慣や食文化等の紹介、その国のゲーム等を通じて園児のみなさんと楽しく有意義な国際交流を図りました。



## 国際交流 秋のお茶会

高松屋島ライオンズクラブが10月23日に玉藻公園披雲閣で開催した「第51回秋のお茶会」に留学生、ALT(外国語指導助手)など11カ国、25名の外国人の方が招待されました。

当日は雲一つない碧空。一行は会場となる披雲閣に入り、まず温かい甘酒をいただき、それから日本情緒溢れるお茶席に通され、お茶会を体験しました。皆さんが殆ど初めての参加なので茶会の張りつめた雰囲気や礼儀、作法の不案内と正座に緊張しながらも、日本人参加客を見ながらお茶とお菓子を楽しみ、日本伝統文化に触れる貴重なひと時を過ごすことができました。お茶の後にはお蕎麦をごちそうになり、香川県西讃地方で結婚式の引き出物としてよく用いられるおいりをお土産に披雲閣を後にして、松ぼっくりで作った珍しいクリスマスツリーの前で写真を撮ったり菊花展を観たりして各々で楽しみました。



## 香川日華親善協会

香川日華親善協会は昭和63年2月に、地元経済人や文化人を中心に中華民国(台湾)の人々との友好親善を促進するために設立しました。現在の会員数は92名で、会員の中には日本統治時代に、台湾で生まれ育った方もいます。

初代会長は井上勉氏が就任し、長年にわたり民間レベルにおいて、経済活動、学術文化、スポーツ、観光などの相互振興に尽力を尽くしました。平成元年10月に、協会として初めて伊丹空港から日本アジア航空にて親善訪問し、その後高松空港からのチャーター便就航実現に努めたり、在高松の台湾留学生を囲み親善、友好の集いなどを開いています。



平成25年7月、新会長に三矢昌洋氏(県観光協会会長)が就任し、時同じく3月にチャイナエアラインが高松空港に四国初の定期就航してから、大きく交流の輪がより広がりました。

10月の国慶節には、毎年のように会員がレセプションに招待され台北を表敬訪問し友好を深めたり、県当局や県日華親善議員連盟のご尽力で国立武陵高級中等管弦楽団を招き、香川ジュニアオーケストラや高松一高合唱部との合同演奏会には多くの会員が会場に詰めかけました。

又、昨年開催された第3回瀬戸内国際芸術祭では、サンポート高松広場にて台湾観光協会寄贈の大型モニュメントがライトアップ展示されたことも記憶に新しいところです。

又、本年5月には第10回日台観光サミット in 四国が香川県を中心に開催が予定され、相互訪問600万人の目標達成交流会議や鉄道観光サミットが開かれ多くの皆さんが来県されると思われます。

毎夏開催の総会には、台北駐大阪経済文化辦事處長や台湾観光協会大阪事務所長をお招きし、本場の紹興酒、パイナップル菓子などをいただきながら友好の輪を広げ、さらなる友好の深化を望んでいます。



TIAの今後の主な事業予定

2017年

- 4月** 16日(日) 国際交流支援事業【前期①】  
おとなのための基本英会話講座
- 23日(日) 世界のスイーツ教室  
第7回「ニュージーランド編」  
(アップルクラムブル)
- 5月** 28日(日) 国際交流支援事業【前期②】  
「VAMOS! 南米文化ワークショップ」
- 5月中旬 第11回さぬき探訪
- 6月** 6月中旬 カムチャッカ ホストファミリー募集
- 17日(土) 国際交流子どもスクール  
「せかいのこぼきょうしつ  
ーイタリア語編ー」
- 7月** 7月下旬 カクチャッカ ホームステイ受入
- 16日(日) 国際交流子どもスクール  
「せかいのクラフト教室」
- 7月下旬 セント・ピーターズバーグ市  
高校生親善研修生派遣事業  
第13回 小学生英語暗唱大会
- 8月** 14日(月) 高松まつり 国際交流おどり子連
- 9月** 9月中旬 トール市親善研修生派遣事業
- 9月下旬 第12回さぬき探訪

詳しい日程が決まり次第、TIAのホームページやパンフレット等でご案内しますので是非ご参加下さい。

国際交流ボランティア募集

当協会では、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録してください。



「7ヶ国語会話集」好評発売中!

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら?  
「なんて言えばいいの??！」  
答えはこの中から見つかります。

100円



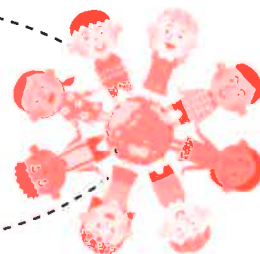
参加費無料

毎週日曜「日本語会話クラブ」

13時～16時 アイパル香川3F

日本語を楽しく勉強しませんか?

ボランティア講師が皆さんの参加を待っています!



国際交流団体への助成金制度のお知らせ

平成29年度

当協会では高松市内の国際交流団体が自主的に企画、実施する国際交流事業に対する共催・後援および事業費等の助成制度があります。

① 共催・後援:名義使用

② 事業費助成

対象:市内および姉妹・友好都市での国際交流事業  
事業費3分の1助成  
限度額5万円

③ 申請期間:

【前期】平成29年4月1日～5月31日(2ヶ月)

\*前期は4月1日以降9月末日までに実施されるイベント等に係る助成金申請期間です。

【後期】平成29年8月1日～9月30日(2ヶ月)

\*後期は、10月1日以降3月末日までに実施されるイベント等に係る助成金申請期間です。

④ 提出書類:助成申請書・事業計画書・収支予算書・団体等の規約及び年間事業計画書・その他資料

\*申請書は、協会ホームページからダウンロードできます。

\*申請を受け付けた後、協会で審査し結果を通知することになります。

外国人私費留学生への国民健康保険助成について

平成29年も、高松市内に在住する私費留学生に国民健康保険料の一部を助成します。

詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。



編集後記

トランプに暮れトランプに明けた年末年始から、早2ヶ月。トランプカードは何枚ジョーカーがあるのやら、なかなか混沌を極めている。多文化共生という観点から考えると、いささか?マークの発言もあるようだが、今後を見守るしかないのか。政治の世界とは異なり、市民レベルの国際交流は、ここ高松においてもどんどん普通になっているように思う。多文化共生の地域づくりは、確実に協会としても進めたい。今年もよろしくお祈りします。

T.B

